

班、体操班、球技班、ダンス班の4班に分れ3日間を通じて履習。

- g 修了証授与 全日程を履習したものに対しては修了証を授与した。

年度はじめの講習会であり、学習指導要領改訂発表の年でもあるので、本講座は大きな期待と熱意をもって迎えられ、多大の成果を収めえた。内容は日程に比べて豊富であったので会期1日延長の声もあった。教材はもっと段階的発展的な取扱い方を教えてもらいたかったとする意見が多く、今後のうえに検討を要する問題である。

## B 学校体育伝達講習会

指導者養成講座で研修した受講者が各出張所において、それぞれの計画によりこれが指導伝達し管内の向上をはかる。

- a 期日 6月～7月、都市以外の地域では農繁休業を利用して開催したところが多かった。  
b 場所 各出張所ごとに実施、方部によっては、さらに管内を数カ所にわけて徹底をはかった。

伝達講習会によって末端まで指導が行きわたり効果があがった。数カ所で開催したところでは、指導者が何回もでることになり多少困難も生じた。

## C 水泳安全指導者講習会

夏期に発生する水難事故を、未然に防止するため、泳法および救助の技術を県内学校体育関係教員に研修させ、もって学習指導に役立たせるのがこの講習会のねらいである。

- a 期日 7月12日  
b 場所 会津若松市営プール  
c 講師 福島県警察本部教養課 山崎正司  
d 参加者 20名  
e 内容  
(1) 理論 水泳安全管理  
(2) 実技 救助法、人工呼吸法(ニルセン式)泳法  
f 参加資格  
(1) 50m以上泳げるもの  
(2) 身体強健で異常のないもの

水難救助の理論と実技の指導は平易に説明され、特に実技については親切丁寧に手をとって指導されたので非常によかった。

救助法の実技は簡単には習得できないものであるから、毎年継続して実施する必要が感じられた。

## D 研究指定校中間発表

保健体育科は実証的科学的に研究してゆかねばならない多くの問題をもっているのです、研究指定校を

設置して、これが問題解決の一助とし、地域における体育の振興と、さらに県内学校体育の充実向上に役立たせようとするもので、今年は初年度としての中間発表を行った。

### a 共通テーマ

- (1) 保健体育の指導と、道德教育との関連をどのようにしてゆくか  
(2) 児童生徒の発達段階に応じた到達目標をどのように設定したらよいか

### b 各学校の研究テーマと発表

- (1) 石城郡好間第一小学校  
○学年別基礎能力と向上への具体的方策  
○校内における保健活動のあり方  
○中間発表 11月14日  
(2) 白河市立白河第一小学校  
○体育諸能力の実態に立った指導とその到達目標へのはぐくみ  
○発育と栄養はどうなっているか  
○中間発表 10月22日  
(3) 平市立草野小学校  
○徒手体操の系統的指導  
○発達段階に応じた集団行動の様式と指導  
○農村地区における保健管理  
○中間発表 11月7日  
(4) 郡山市立芳山小学校  
○巧技(跳箱、鉄棒)指導をどのようにするか  
○中間発表 10月24日  
(5) 相馬市立中村第二小学校  
○望ましい性格行動をめざす体育指導  
○中間発表 11月6日  
(6) 耶麻郡吾妻第一小学校  
○環境を克服しての体育指導  
○山村校における保健指導と施設設備の活用  
○中間発表 11月10日  
(7) 東白川郡近津中学校  
○体育施設設備の充実  
○本校スタントの基礎指導について(跳箱・鉄棒・転回)  
○ダンスの創作活動の過程はどのようにすべきか  
○中間発表 9月10日  
(8) 田村郡滝根中学校  
○運動能力をいかにして向上させるか  
○中間発表 10月27日

今年の研究テーマは、いずれも改訂指導要領の発表を予定して、新しい方向と問題点にとりくみ真剣に研究を続け、しかも文部省よりの発表がないという条件をよく克服して、正しい趣旨を把握し、方法的にも要点をとらえて指導の新しい示唆を与え、各